

かがやきニュース

夏を元気に！ 各センターでの取り組み



▲7月10日四季のベンチ利用者お二人の誕生会で地元の「おやじコーラス」から懐かしい歌のメロデーをプレゼントされました。(東信)



▼親族の消息場所が判明！芽ぶきの会バスハイイクで満蒙開拓記念館へ。悲惨な過去に思いをはせ、「平和」をかみしめました。(中信—詳細は8ページ)



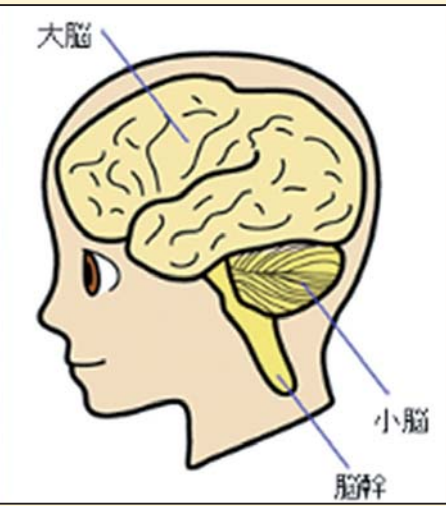
◀北信地域センター「組合員の集い」を7月12日(土)に開催。参加者26名で活発な交流会となりました。(北信—詳細は7ページ)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 本部・北信地域センター
長野県長野市南長池 761-3
(本部) TEL 026-263-2386
(北信) TEL 026-217-3601 | 中信地域センター
松本市本庄 2-3-18
TEL 0263-31-8200 | 東信地域センター
佐久市下越 612-1
TEL 0267-78-5070 | 南信地域センター
飯田市知久町 4丁目 1203-2
高田ビル 2階
TEL 0265-23-1109 |
|---|---|--|---|

櫻井記子さん
 社会福祉法人ジェイエー長野会
 特別養護老人ホームローマンうえだ
 副施設長
 佐久総合病院等勤務後、2002年より特別養護老人ホームで職員の人材育成に携わり、認知症の人を支える地域活動に取り組む。
 看護師、介護支援専門員、認知症ケア上級専門士

知っていますか？ レビー小体型認知症

この病気をはじめて耳にする方もいらっしゃると思いますが、最近では、アルツハイマー型認知症に次いで多い認知症で、血管性認知症とともに三大認知症と言われ、誰にでも起こる病気です。しかし、病気について知られていないために、発見が遅れて周囲の誤解を招いたり、症状が悪化する場合も多く見受けられます。



原因は、「レビー小体」という特殊なたんぱく物質が大脳皮質に広範囲に出現することによって起こります。このレビー小体が脳幹部を中心に現れるのがパーキンソン氏病です。

Aさんは、独りで暮らしをしていましたが、不安で眠れないなど毎日ケアマネに電話するようになっていました。また、小股歩行で、転びやすくなり、手や顔に打身の後もよくみられました。「女の人が来てお金を盗られた」と近所の人にふれまわり、警察沙汰となったこともあります。

特養入所後は、筋肉がこわばり動作が緩慢で、表情も硬く、日によって意識がはっきりしている時と、つじつまの合わない言動をする時があります。夕方になると居室のカーテンを指し、「恐ろしい男の人が3人こっちをみている。」とか、「ネコを追い出して。」と車イスのペダルを指し、おびえて職員を呼ぶことが多くなりました。寝がけに、大声をあげることもあります。

レビー小体型認知症は、人によって症状の現れ方も多様で、初期は物忘れが目立たず、診断が付きにくい病気です。Aさんは入所により、特徴的症状である、「幻視」「パーキンソン症状」「睡眠時異常行動」等が明らかとなり、診断がつかしました。

治療は、認知症や幻視や妄想の症状、パーキンソン症状に対する薬が処方されますが、薬に過敏な病気でもあり、主治医に本人の様子を伝え、調整してもらいましょう。幻視には、部屋を明るくしたり、片づけるなど誤認しないよう環境を整え、「大丈夫。」と手を握り、あたたかく声をかけてあげましょう。これまでと変わらない接し方で、安心してもらうことが大切です。

脱水や便秘、風邪などで幻視が頻繁に現れることもありますので、体調管理で予防することも大切です。(櫻井記子)

長野高齢協組合員数
(平成26年8月末現在)

全体	3,356人
北信	2,042人
中信	680人
東信	472人
南信	152人

編集後記
 7月下旬、佐久市役所から東信センター「四季のベンチ」に連絡があり、8月7日に国会議員が視察に行くからよろしく、と。見えたのは民主党の元厚労大臣長妻昭氏、同党国対副委員長山井和則氏など7名。
 説明のあと若干の時間をとって懇談。長妻氏曰く「いい仕事で名のおつていっているとおりだ。ここには哲学がある」と。現場見学と廊下の壁に下がる色とりどりのパネルにしきりにカメラをパチパチ。帰りぎわに「いい仕事頑張ってる続けて下さい。」こんな評価がこのニュースに時々載せられるようになれば、と願いつつ第108号をお届けします。(依田)

8月1日厚生労働省は、「健康長寿社会の実現に向けてー健康・予防元年」と題して2014年版の厚生労働白書を公表しました。社会保障制度は「限りある財源によって運営されている」とし、その抑制は、「国民一人ひとりが考えなくては」一として、社会保障制度の縮小と自己責任・負担の拡大を国民に求める姿勢を示したものとされており、そのための予防や健康管理を強調した内容となっています。また「健康寿命の延伸に向けた最近の取り組み」の一つの例として医療介護総合確保推進法(略称・医療介護総合確保法)を例示。要支援者に対する訪問・通所介護サービスを紹介保険から外してしまいうにもかかわらず、「介護予防につながる」と矛盾した見解を述べています。本当にそうなるのでしょうか?あらためて6月18日成立した、医療介護総合法の内容を現実には照らし問題点を指摘したいと思います。

地域包括ケアシステムのなかで介護保険が縮小

医療介護総合法の正式名称は「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」といい、団塊世代が後期高齢者の仲間入りをする2025年問題や将来の人口減社会を見据え、医療・介護のあり方を見直そうというもの。そもそもその目的は医療制度の大改革で、急性期医療に重点を置き、病院完結型から地域完結型へ移行させる内容であり、医療機関の機能区分など地域医療計画の策定、公的な介護施設の整備や介護サービスの見直しなど、地域包括ケアシステムとして医療と介護の一体的な体制作りを進めるものです。この中で介護保険制度の変更も行われ、介護予防給付が縮小され、要支援の軽度者は「訪問介護」と「通所介護」を介護保険では受けられなくなり、市町村の「地域支援事業」の対象に置き換えられるため、従来に比較してサービスの低下や利用者負担の増加も必ずです。また特別養護老人ホームの入所者を「要介護3以上」に限

定されます。更にこれまで自己負担1割だった介護保険サービスが年間所得によって2割負担になります。

病床削減で入院難民も

また“入院難民”が社会問題化しているのに病床の大幅削減を進めます。都道府県に病床再編計画を作らせ、その縛りに従わない場合のペナルティー措置まで課して在宅に押し戻す計画です。このように高齢者などに負担を強いられ、必要な医療や介護を受けられない“行き場なきお年寄り”をつくる改定には、私たちは声を大にして広く改善に取り組んでいく必要があります。

利用者の立場に立ち、高齢協が地域の中で積極的な行動を

一方で介護事業に直接携わる高齢協も制度の変化に対して現実的な対応を準備し、取り組んでいくなかで、地域の介護機関・医療や各種団体、行政等と連携し、真の地域包括ケアシステムとしなければなりません。地域



(理事 風間隆治)

私どもの取り組み事業や活動を通して、それぞれの地域で期待される社会資源として地域支援事業に積極的に関わり、創意を凝らしてこのシステムづくりの力にならなければと考えます。組合員の皆様のご理解と一層のご協力をお願い致します。

読者からの投稿

読者の皆さんからの投稿を一部紹介します。
沢山の投稿ありがとうございます。

「つくしの里」で働き始め、長い間職員としてお世話になりました。ありがとうございました。

思い起こせば、ボランティアで始めた「お弁当配達」でした。ひとり暮らしのお年寄りや老人世帯、ハンディキャップを持って自活をしようとしている人たちを地域で支えるお手伝いをしたいと、「志」高く「尽くす」つくしの里を始めようとしたNさん・Oさん・Yさんに共感して立ち上げから参加しました。3個のお弁当を持って、八幡神社の向こうまで車を走らせるような日々が半年以上も続きました。

「せめてガソリン代だけでもだしていただませんか。」とお願いして2年目から有償ボランティアになり、現在は車を借金して買い替え、その支払いに当てられる程度の収入が得られるようになり、感慨ひとしおのがあります。

まだ白黒だった「かがやきニュース」にイラストと記事を書かせて頂いたこと・手作りのおひな様やサンタさんを利用者さんにお届けしたことなど、なつかしい楽しい思い出が沢山あります。なによりの喜びは、「ありがとう」雨

で大変だね」などと言ってくださいる利用者さんの一言でした。

これからは、笑顔で感謝の言葉が伝えられる可愛い年寄りになり、終わりの準備を急がなければと思っております。「つくしの里」のお世話になる日も遠くないと思いますが、よろしくお願ひします。(轟博子さん)

○前略『長野県高齢者生活協同組合』の役員の皆様方、いつも本当にご苦労様です。そしてありがとうございます。この組合に加入させていただいてから、もう何年にもなりますが、この3月やつと佐久にも「小規模多機能型施設一四季のベンチ」が完成し、4月からオープンになりました。私は自分自身はまだお世話にはなりません、友人を複数紹介し、その方々に本当に喜ばれております。イベントには参加させていただき、会の理念には頭が下がります。私の亡き母も市川理事さんには長くお世話になり、他の患者さんと共に心から先生をお慕いしておりました。

私は昭和10年3月に生まれました。来年は80になります。あの敗戦の時5年生。学校を卒業したら戦地の従軍看

護婦を夢見ていました。父と2人の兄が兵隊にとられ、13の姉を頭に5人の弟妹と病弱の母を残された私達の生活は本当に大変なものでした。学校ではススメ ススメ ヘイタイススメの教育でしたが、敗戦を迎えて教科書に墨をぬり、まったく逆の教育になろうとしていました。私は先生の方がそれに順応していることが不思議でした。昨日と今日の教育内容がそんなに簡単に変えられるものだろうか・・・と。

中学2年生の時、大学出の若い先生が「新しい憲法」を教えて下さった時、心から納得し、この憲法の下でがんばっていかうと思っただけです。私は大

○首相の安倍さん、知事の阿部さん、どちらも支持する人がこんなに多いの?本当の姿分かってないのかしら。私達の生活を真剣に守ってくれる人を選ばないと駄目ですね。流れにまかせてはいけません。自分の目と頭で考えましょう!(Tさん)

○梅雨明けとともに急に暑さが厳しくなってきました。黒部ダムまで行ってきましたが、山の上とはいえず、とても暑かったです。ついこの間まで大雨で騒いでいたのに、この暑さだと雨が降ってほしいと願ってしまいます。(Oさん)

○先日本曾三岳村の道の駅に立ち寄ってみました。無農薬の野菜がいっぱいあり、安くてびっくりしました。とてもおいしくいただきました。(Hさん)

○貴組織の日頃のご活躍に対して、敬意を表すとともに感謝しております。6月の総代会で確認され、かがやきニュース107号表紙等でもクローズアップされた「地域での抛り所(サロン)をいっばい作ろう」は、現在地域から求められていることと、ぴったりです。高齢協が真の意味で地域に根づくかどうかは、この活動にかかっていると言っても過言ではないと思っております。(Yさん)

前号のクロスワード正解「ワールドカップ」でした。

正解者：9名 当選者（3名）：朝比奈恒子さん、奥村繁子さん、広瀬葉子さん
おめでとうございます。クオカード500円と万座温泉入浴券1枚をお送りします。

1		2		3	4	
		5				
6	7			8		
	9		10			
11					12	13
14				15		
16			17			

〈前号の答え合わせ〉

1	カ	2	セ	3	キ		4	イ	5	ワ	6	ナ
7	オ	ン		8	リ				9	カ		ガ
10	ウ	タ		11	カ		12	リ		モ		ノ
		13	ク	14	サ			15	ツ			ノ
16	キ			17	イ		18	タ	チ		19	カ
20	ジ	21	ユ	ン		22	イ			23	ウ	エ
24	ツ	バ			25	ブ				ド		ル

〈タテのカギ〉

- 現在の福岡県で江戸時代から袴や帯などに織られた木綿布。〇〇〇織
- 果物や野菜からとった汁
- 江戸時代の五街道の1つで信濃を通っていた〇〇〇〇道
- 皮膚につける薬剤の軟膏です
- 資源の節約や環境保護のために不用品を再生して利用します。
- 油などに顔料を混ぜた塗料
- ひとたび。
- 先祖。始祖。
- 9月9日重陽の節句のこと。〇〇の節句ともいう

〈ヨコのカギ〉

- 融通が利かない事の例え。〇〇〇に^{にか}膠す
- 庄屋
- コアラはこの葉しか食べません
- 自動車の耐久競走
- 文字通り背中の黒い、〇〇〇セキレイは日本特産
- 不安、気がかり、緊張感を味わえるドラマや小説
- 昭和20年代半ば津村謙が歌った「上海帰りの〇〇」
- レコードを回転させ音を再生させる装置
- 〇〇安になると、円高ということになります
- 得ることと失うこと

応募方法

・ヒントから□に文字を入れて、A～Fまでのアルファベットを順番に並べ替えて、言葉を完成させてください。応募いただいた正解者の中から抽選で3名の方にクオカード500円と万座温泉日進館の無料入浴券1枚をプレゼントします。
☆答え、氏名、住所、日常の出来事やニュースのご意見・感想などを記入して、郵便、FAX又はメールにてご応募ください。お待ちしております。
宛先：〒381-0024 長野県長野市南長池761-3 長野県高齢者生活協同組合「クロスワード」係
FAX:026-263-2385 メール:info@nagano-koureikyo.jp 締切日：10月17日（金）必着

第9回理事会報告 (2014年7月26日)

- 秋の組織強化月間の方針を確認しました。
 - ・全ての地域で総代・組合員さんの集いや懇談会を開催します。
 - ・各地で抛り所、サロンづくりの為、様々な取組みを行います。
 - ・高齢協を大宣伝し、仲間づくりを進めます。
 - ・新たな投資の準備の為、増資活動、協力金募集活動に取組みます。
- 被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める署名に取り組みます。
- 第16回通常総代会のまとめを行いました。来年は中信地域で開催します。
- 第1四半期の財務状況を論議しました。事業高 153,391千円、事業剰余 ▲4,401千円という結果でした。当初予算に比較すると赤字幅は少ないものの、より一層の奮闘が必要です。

「まあ、やらす。みんなが一歩踏み出そう！」

6月の総代会では、ひとりひとりの組合員の思いや願いを受け止め、生きがいづくり、仲間づくり、仕事おこしを通じて、「ひとりぼっちにならない、しない。」をあらゆる場面で創り出して行こうと決議されました。これを受け、いよいよ生協の組織強化月間（9月～11月）が始まります。

活動の柱は 4つ
① 全ての地域センターで総代・組合員の集いを開催します。

この中では、医療介護総合確保推進法という名前は良いのですが、要は改善されようとしている社会保障について学習を行います。また、地域で起こっている身近な困りごとや要望を出し合い、これからの活動を話し合います。

たくさんさんの組合員さんが参加され、寄り場づくりや新しいサークルなど一歩が踏み出せればと考えています。「困った、困った」と言っているても何

も始まりません。みんなで一歩踏み出しましょう。

② 皆さんが今読んでいる「かがやきニュース」の手配りを推進します。ニュースの発行は2ヶ月に一回。ニュースを届けながら、その方と直接お話しをする。

これも「ひとりぼっちにならない、しない。」の大事な活動です。役員は全員地域を担当するのは当たり前ですが、元気な組合員さんにも協力頂ければと考えます。ご近所の組合員さんと繋がる一歩を踏み出しましょう。

③ 各地域センターや事業所では組合員さんと一緒に、様々なイベントを行います。（お祭り、学習会、サロン等）より多くの組合員さんが、お知り合いを連れて催しに参加して下さい。「こんな楽しい、こんな勉強になる活動をしている高齢協に私も入りたい。」そう思っただけの方々の増やしましょう。

生協全体では408名の新たな仲間作りを進めます。



高齢者生協の事を周りの人に伝えて下さい。かがやきニュースを見てください。

そこから一歩が始まります。

④ 組合員さんひとりひとりの出資金が私たちの活動・事業の力となります。この間、小規模多機能型居宅介護施設を4ヶ所、配食も3ヶ所に増え、長野、松本、佐久、飯田に拠点ができました。これからは組合員さんの要望にこたえる為に、ひとつひとつ形にしていきます。高齢者生協を強くするために増資活動に参加しましょう。

また、北信地域では、配食事業つくりの里川中島が移転を迫られています。移転資金の捻出のため、協力金（1口5万円）募集の取組みを行っています。金融機関に頼らず、私たちの手で高齢者生協を強くしましょう。

誰もが「こうありたい」「こうありたい」の思いがあります。ひとりひとりのタイを形にしていく。高齢者生協はそんな存在でありたい。誰かがやってくれる訳ではありません。みんなで少しづつ力を出し合い、タイに近づきましょう。

（新井厚美）

まあ、やらす。

一人の百歩より百人の一歩。

組合員紹介

北信・塚田晃子さん



塚田さんが、高齢協にかかわったのは「つくしの里」のお弁当の配達を平成10年3月に始めた時からです。平成12年にホームヘルパー2級課程を修了し、訪問ヘルパーとして勤務、同時に成年後見人の養成講座も修了。平成17年介護福祉士を取得し、同年かがやきデイサービスの立ち上げに参加し、平成18年ケアマネジャーの資格も取得した努力の人です。

介護スタッフとして仲間と介護のことを工夫・相談し、利用者の心が暖かくなるような介護をしようと、高齢協のケアの基礎づくりに頑張ってもらいました。

そんななか平成18年に脳内出血の発病でやむなくデイサービスを退職しました。その後健康も回復し、現在はニュースの手配り、地域の組合員さんと交流を深めています。できれば、組合員同士助け合ったり、寄り場が作れればと話してくれました。いつまでもお元気で。

（編集委員 永井美子）

協同組合はなぜ生まれ、何をめざすか 〜生協組織強化月間にあたり

かつて日本の農村における人びとの生活は自家労働、自給自足によって成り立っていました。ヨーロッパ・イギリスでも同じでした。ところが18世紀後半からイギリスで始まった産業革命（手工業から機械工業へ移行する時の産業上の大革命）により、工場などを経営する資本家と土地を手放し雇われて働く賃金労働者との2つの階級がつくられ、資本制生産様式に変わっていきました。

そしてこのような社会の仕組みはやがて資本家たちの利潤を生み出すことを目的にしたものへと発展し、その結果この変化による矛盾のしわ寄せが労働者たちに押しつけられることになりました。

この仕組みに対し働く人びとが協同し、自分たちの生活を守る仕組みを作らなければと考える思想家たち（ロバートオウエンなど）が現れ、さまざまな思考と実践がくり広げられました。

「工業化」や「産業化」の波はフランス、ドイツなどヨーロッパ全体に広がるにつれ、それに対する生

産協同組合などの設立もヨーロッパ各地に広がりました。これらの運動の経験を経て1844年、イギリスランカシャー工業地帯のロッッチデールにロッッチデール公正先駆者組合、都市の労働者による消費組合がつくられました。消費物資を共同で買入れて分け合う、今日の生活協同組合の原型となる協同組合でした。日本も含めた現在、協同組合全体の基礎となっています。ここでつくられた運営規則はのちに「ロッッチデール原則」と呼ばれ、今日の「協同組合原則」のもとになっています。

「反資本」が基本にあります。国際協同組合同盟（ICA）の定義によれば、「協同組合とは、人びとの自治的な協同組織であり、人びとが共通の経済的・社会的・文化的なニーズと願いを実現するために自主的に手をつなぎ、事業体を共同で所有し、民主的な管理運営を行うもの」です。「安心」の高齢社会を築くため協同組合の原点を大切にし、ニーズ・願いの実現のための組織と運動を大きく、力強いものにしていきたいと思います。

（依田発夫）

日本高齢者生活協同組合連合会 関東・信越ブロック会議に参加して

8月2日〜3日に東京・神奈川・埼玉・新潟・長野の高齢協の仲間38人が集まり、「関東信越ブロック会議」が佐久の東信センターで行われました。会議では医療介護総合確保法の学習、各生協の取組みの発表が行われました。長野高齢協からも配食事業や佐久の組合員活動、小規模多機能事業所の取組みを発表しました。特に参考になった他高齢協の取組みを紹介しました。

○神奈川高齢協・福祉移送サービス
神奈川高齢協での福祉移送は2005年から事業を開始し、昨年度は登録車両61台（運転者68名）で18,842件（1日平均50件以上）実施しています。利用料金は1km100円でタクシー料金の半額程度。利用される方は主に通院が目的ですが、買い物やドライブにも活用されています。運転者とは業務委託契約で対応し、実収入も3〜5万程度になります。担い手として男性の



新潟高齢協では介護保険や高齢者福祉に留まらず、若者サポートステーションやフードバンクなど生活困窮者の福祉に係る事業と活動も展開しています。今回は新潟市から委託を受けた「ひきこもり相談支援センター」の報告を聞きました。昨年度相談件数は1377件毎年新規登録者が増えています。支援は気長に根気よく、ありのままの本人を受け入れるところから始まり、寄り添いながら支援を行います。ひきこもりは医学的・心理的・社会的要因などにより「引きこもりざるを得なかった」人たちを言い、決して怠け者やアブナイ人たちではなく、誰にでも可能性がある、との話が印象的でした。（高瀬制二）

南信

通信員だより 「南信州 下條村とは」

私は、介護施設「みんなの家下條」のボランティア的お手伝いを、開設準備段階から行い、1年になりました。南信州の下條村の様子を私なりの感想を述べて見たいと思います。

長野県は平均寿命トップ。その中であって、下條村は健康長寿者の多い村です。下條村は人口4000余人、高齢化率の高い郡部にあつて、この村は全国有数の出生率の高い、若者に手厚い住宅支援、子育て支援など、剛腕村長の行政手腕はマスコミから、全国の注目です。

開設当初、私も含めた職員全員で、村内全戸訪問をしました。その中で、この村は100年はゆうに経た、本棟造りの大きな屋敷と広大な敷地に立派な庭、この地が昔から裕福な村であったことを知りました。ご挨拶と会話の中で、年齢を聞くと80才を越えたといいながら、元気に農作業に精をだされているお年

寄りが多いことに驚きました。

都会では定年退職して老後はテレビを見るのが唯一のような都会の老人とは、天と地ほどの違い、元気で長生きを実践している事例であると思います。

また都会なら、権利意識として、介護サービスは早くから使わなければ損ということもあると推測されます。この村では、介護サービスを受けることをためらう老人もいません。世間体や人様に迷惑をかけてはすまないという思いから、かなり無理をしても、頑張っているご老人が多いのではと思えます。介護施設にとつて、幸か不幸か、元気な老人が多いこの村の、地域密着介護施設の運営はなかなか軌道に乗りにくいのも現実です。

いかに元気な老人が多くても、全員がピンコロというわけにはまいりませんから、晩年には在宅での生活のお手伝いをさせていただくことになるのではないのでしょうか。

（通信員 酒井和美）



かがやき インフォメーション

秋の催しをご紹介します。 ぜひご参加下さい。

- 東信
 - ◎かがやき広場秋まつり
日時：10月5日（日）10〜15時
会場：長野高齢協東信地域センター（佐久市白田）
地域の皆さんと実行委員会を作り、開催。新設した「四季のベンチ」「米ちゃん弁当」のお披露目と作品展・舞台発表・野外市場など。
☎0267-78-5070
 - 北信
 - ◎長野県協同組合フェスティバル2014
日時：10月5日（日）10〜14時30分
会場：エムウェーブ
ステージ発表・食品販売・高齢協活動紹介
 - ◎かがやき秋祭り
日時：10月18日（土）10〜15時
会場：長野高齢協本部（長野市南長池）
作品展・健康チェック・介護相談・舞台発表・野菜果物市・キッズコーナーなど。
☎026-217-3601
 - ◎第18回かがやきひろば湯福センターまつり
- ◎かがやきひろば柳町利用者発表会
日時：11月8日（土）
☎026-235-0019
- ◎東北老人福祉センターまつり
日時：11月21・22日（金・土）
☎026-296-5570
- ◎第4回かがやきフェスティバル
日時：12月6日（土）
☎026-257-3135
- ◎作品展・舞台発表
- ◎いこいの家秋祭り
日時：10月中旬に各施設にて予定。
歌・踊りなどの発表など。
- 石川いこいの家・大豆島いこいの家・茂菅いこいの家・若槻いこいの家・新橋いこいの家
- ☎026-217-3601
- 中信
 - ◎里山辺地区文化祭
日時：11月3日（月）9〜12時頃
会場：松本市里山辺地区公民館出張所
作品展・発表会・農産物販売・高齢協の焼き鳥出店します。
 - ◎第2地区文化祭
日時：11月8日（土・日）9〜12時頃
会場：第2地区公民館
（中信地域センター西隣り）
作品展・発表会・農産物販売・高齢協の焼き鳥出店します。

この平和を後世に残したい 『芽ぶきの会』企画の バスハイイクに参加して

松本市第2地区ボランティア部会長を預かっていきます。根本二三子と申します。「かがやき」さんのお付き合いは中信地域センターの事務所が、公民館（福祉ひろば）が隣りということ、高齢協職員の内田さんには、平成7、8年頃より第2地区社協の会合の時、介護について講演を数回して戴いています。その時からです。

事務所前でのバザー数回や「春の集い」にも参加し、マジックや手話などを発表させていただきました。そのご縁で、バスハイイクに声をかけていただき、数回のバスハイイク参加にと繋がりました。以前より組合に入らなければと思ったところに、今回のバスハイイクの際にお誘いを受けまし



ビデオ鑑賞の後に
詳しい説明を聞きました

て、仲間7人と一緒に加入させて頂きました。早々「かがやきニュース」の原稿依頼を受け、おこがましいと思いつながら、この度のバスハイイクの感想を書かせていただきました。これまで、大町の木崎湖、上諏訪温泉間欠泉、飯山の高橋まゆみ人形館、昨年は善光寺と何度も参加させて頂きました。恒例となつて今年今年のバスハイイクは、7月5日に南信州「満蒙開拓平和記念館」の見学でした。バスの中では、歌あり脳トレと短くも楽しい時間を40名の皆さんと過ごすことが出来ました。

どの時のバスハイイクも良かったですが、今回の「満蒙開拓平和記念館」は、特別に平和について考えさせられました。当時満蒙開拓団として渡つた方にお話しを聞いていましたが、記念館でビデオや写真

貴重な資料などを見るにつけてこれほど惨いとは…、もっと大勢の方に知ってもらいたいと思いました。一緒に行った荒井さんの声を紹介します。『日本から27万人の方が夢を抱いて渡つた新天地でしたが、1945年8月9日ソ連軍の侵略で、開拓団の人達は広野を逃げまどい、祖国に帰れないまま多くの人が難民収容所などで亡くなりました。この歴史を風化させることなく後世に伝えるためのこの記念館、体験や歴史の事実を耳に傾け、平和な社会とは何かを考えさせられました。』

「前事不忘 後事之師 訓とする」…平和への願

「前事不忘 後事之師 訓とする」…平和への願い。帰りには、かぶちゃんカフェでの野菜食バイキング、下條村の道の駅での買い物、飯田の水引工芸館の実演などを楽しみました。



かぶちゃんカフェでの
野菜食バイキング風景

この平和こそ皆でしっかり守り後世に汚点を残さない様にしたいものです。これからも、私の出来る事は協力させて頂きます。今後ともよろしくお願いいたします。
(根本二三子)



水引工芸館の実演風景

ゆつくりするのよ くたわわ善光寺下に伺つて

お泊りの利用者さんたちが、静かにゆつたりとくつろいでいるデイルーム。朝9時を過ぎると、外の長い緩やかなスロープを使つて、いつのまにか15名の利用者さんたちが部屋にそろつていました。利用者さんたちは体調をみていただき、お茶をいただいたり新聞を読んだり、そのあとは、体操や個別にお風呂に入り一時を過ごします。

その日は権堂アーケードの七夕かざりを見に行くとのこと、数人はすでに見学しているのでその方たちは残つて、8月のちぎり絵作りです。七夕かざりは「FMぜんこうじ賞」をいただいたそう、アーケードの中でもとても栄えたすばらしい装飾作品でした。ちぎり絵をして



ちぎり絵作りに励む利用者さん

私自身母を介護していますが、母は毎日ゆつくりできていくのだからかと、反省ばかりでした。専門のスタッフさんに見ていただけるからこそ、介護される方、



FMぜんこうじ賞を
いただいたちぎり絵

介護する人に余裕が出てくるのではないかと感じました。たわわ善光寺下のスタッフの方々、利用者さんに感謝の一日でした。(編集委員 相澤京子)

「ゆつくり報告」

高齢協の各事業所で利用者さんなどに感謝されたこと、褒められたこと、うれしかったこと、などの沢山の報告が上がっています。その一部を皆さんにもご紹介いたします。



「先日91歳で亡くなった母の日記に、『今日も石川の湯へ行って来た。楽しかった。』と沢山書いてあったので、どんな所かと思いつねてきたとご家族の方が見えました。館内を見学したご家族の方が「お湯も気持ちいいし、館内も落ち着くし、皆さん優しいし、母が毎日のように来た気持ちがあつた。また来ますね。」と喜んで帰って行きました。そう言っ

PET 検診のご案内

JA長野厚生連(長野市若里)で行っているPET/CTがん検診(がんドック検診)が長野高齢協の組合員の方は、組合員価格で受診することができます。
一般価格:99,000円(別途消費税)
組合員価格:94,000円(別途消費税)
お申し込みは、長野高齢協本部までご連絡下さい。

もらえて、とてもうれしかったです。(石川いこの家 加々井賢)

北信地域センターに、かがやきニュースを見て、内容がとても素晴らしいと、組合員になりたいとの電話がありました。その方からは自分の家の近くの組合員さんとお話できればとの要望もいただき、こちらからニュースの手配りをお願いしたところ、ぜひやらせて下さいと快く引き受けていただきました。地域の寄り場づくりに繋がればと思います。高齢協で10年間勤務しましたが、組合員さんから積極的に何かをやりたいという問い合わせは初めてのことで、とてもうれしかったです。
(北信地域センター 中村金子)

14歳の少年は
満州開拓に夢を抱いた
〜第11回「あの夏を語る」開く

佐久市の野沢会館で8月16、17日佐久地区ミニ「平和と戦争」展で、東信・おもしろ倶楽部主催の「あの夏を語る」を開催しました。戦争遺品や写真、書籍などを展示した中で戦争体験を聞く恒例の会です。11回目を迎えた今回は満蒙開拓青少年義勇軍の体験を佐久市白田の新海秀人さん(89)に聞きました。会場に集まった参加者70人の中には義勇軍体験者もいて、新海さんの話に加えご自身の体験を披露されるなど、一段と内容の濃い集会になりました。



体験を話す新海秀人さん

義勇軍は満州開拓の担い手を育てる訓練機関で、日本の国策として喧伝されて、昭和13

年から終戦の年の20年までに14歳〜19歳の青少年約8万7千人が満州に送り込まれました。新海さんは昭和17年、14歳のときに志願して満州北部の訓練所へ。その動機は義勇軍に入った先輩の姿に憧れたからと。それに「独立すれば20町歩の土地がもらえる」というのも寒村生まれの少年には魅力でした。長野県は全国で飛び抜けて多くの開拓者を送り出しました。

しかし訓練所では、開拓に必要な技術などの訓練のほか、その日々の3分の1が軍事教練、いわゆる少年兵の養成訓練でした。実際に戦争末期には関東軍の補充要員として毒ガス弾薬庫の警備にあたりついていたそうです。「敗戦後、ソ連軍の捕虜になり、私は17歳でしたが18歳以上の隊員たちはシベリア送りに。今にして思えば、あの苦難は当時の政府が他国の土地を奪おうと欲をかいたせいでおきた。いま、集団的自衛権なんていうのがとびだしてきて、かつて私たちがなめた辛酸を再び味わわれるのではないかと。心配です」と新海さんは語りました。(東誠子)

パチリ！パチリ！と
碁石の響き
『居場所・行き場としての
お茶のみサロン』
を始めました。

今までにない静寂な空気の中で、碁盤に向かい合う組と将棋の駒を弾く組、余計な音などたてられないような、しかし心の澄んでゆくような東信センター研修室の雰囲気。今日はお茶のみサロン「将棋どころ」の初日。予定していた組合員さんに加え、高齢協という存在も知らなかったという男性2人が、「かわら版」のお知らせを見てやって来てくれました。定年後の中高年齢者の社会参加のきっかけとして、また、閉じこもりがちな高齢者のふれあいの場として、夢中になれる趣味の体験の誘い水としても、お役に立てないかと始めたことを説明すると、「そういう場が必要だと思っていた」といつてくださ



将棋を楽しむ地域の皆さん

ました。サロンはほかに「カゴ編み体験」や「絵手紙体験」があり、これ等には女性が20人から30人と足を運んでくれています。カゴ編みの女性たちは形になってゆくのが楽しく、お茶どころではない様子で、初めての人同士でもにぎやかに会話を弾ませながら作っています。参加費は1回200円が基本で、実費経費がかかるものはそれが加わります。佐久市の地域づくりなどを支える「佐久つと支援金」の制度を活用して、今年の6月から始めました。「マージャンもないの？」などの声もあり、ご希望があればやりますよといてるところです。男性軍の居場所になりたく、囲碁・将棋には2人ながら男性の参加があり、何よりよかったです。 (横山孝子)

北信地域センター
秋の組織強化月間の取組
(9月~11月)

組合員・地域の声を聞こう

- ・組合員へのアンケート
- ・地域の声を集めよう (公共・介護事業所等)
- ・ニュースの手配りを進めよう
- ・自治体訪問をして私たちのできることを提案します
- ・倶楽部活動の活性化
- ・組合員の集い

11月はシンポジウム開催
「仕事おこし・人材発掘」

月間四種の神器

- かがやきニュース
- 組合加入申込書
- 北信センターチラシ
- つくしの里協力金 申込み書

つくしの里の移転
を成功させよう

- *10月までに 1日20食増
- *協力金 1000万円
- *組合員の日

私たちの基礎体力を
つけよう

- ・組合員の拡大と増資
目標 250名
増資 4025千円
- ・サービス利用者を組合に入ってもらおう
- ・就労組合員は積立増資を！！

「ひといぼっちに
ならない しない」
ために
地域を良くする
地域を動かす月間に
しよう



北信地域センター

組合員の集いに参加して

7月12日(土) 10時から12時までトイゴ三階で行われた「組合員の集い」に声を掛けていただき、妻と二人で参加しました。総代会には都合が悪く参加できませんでしたので、皆さんとの交流を楽しみにしていました。初めてお会いする方が多く、少々緊張気味で着席しました。小沢さんの挨拶、新井さんの「私たちを取り巻く状況と今後」についての報告、クラブ活動報告、総代会の感想、要望などが出されました。後半は、2つのグループに分かれて「地域を良くするために組合員がやれること」をテーマに話し合いがもたれました。

- ① 皆さんが元気なことで、若い方も参加されていたことが印象的でした。
- ② 皆さんが組合員活動に積極的に参加されていたことに刺激を受けました。
- ③ 私たちも自分たちのできることを通して参加していききたい。
- ④ 高齢者の方々の集まりなりの心配り、気くばりなどの配慮がほしいかと思いました。
- ⑤ 自己紹介は、グループでなく全体でしたほうが良いのでは。
- ⑥ 活動の経験交流会の時間が欲しかった。
- ⑦ 全体の時間の進行に無理があり大切なことばかりなのに消化不良になってしまおう。



グループ討議

散会前に「こねつ
け」(北信の郷土料理)をいただきました。
北信センター総代
鈴木清方